

自転車で公道を走る時は交通法規を守りましょう!



都道府県対抗大会ロードレース



平成28年度全国高等学校総合体育大会自転車競技 …… 2  
競技大会結果 …… 4



2016年JOCジュニアオリンピックカップ …… 6  
各大会日本代表選手団 …… 7



第51回全国都道府県対抗自転車競技大会 …… 8  
各大会日本代表選手団 …… 11  
第31回オリンピック競技大会 …… 12  
NEWS / 男子エリート・ロードレースランキング …… 16  
日本新記録 / 今後の大会予定 / 連盟の動き …… 17  
第29回全日本マウンテンバイク選手権大会 …… 18/24  
第72回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 …… 20

KEIRIN logo and text: この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。 http://ringring-keirin.jp

RINGRING! logo and text: 無限の夢へ、走りだそう。 RINGRING! プロジェクト 競輪の補助事業 地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。 くわしくはウェブで RINGRING! (後期)



## 平成 28 年度全国高等学校総合体育大会自転車競技

大会新記録続出!

チームパーシュート 1 位の岐阜第一

7月29日から31日までの3日間、鳥取県倉吉自転車競技場において平成28年度全国総合体育大会自転車競技大会トラック競技、秩父宮杯第67回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会が開催された。

1日目、2日目と好天に恵まれ、競技は予定通り実施されたが、3日目は1kmタイムトライアルの最中に豪雨が降り出し、一時競技を中断せざるを得なかった。また、3日間を通し、気温の上昇により熱中症気味の選手が多少出たが、無事に終了することができた。

1kmタイムトライアルの山田(岐阜第一)は前評判どおりの強さを発揮して、20年振りの大会新記録で2連覇を果たした。スプリントは甲斐(別府商・別府翔青)、3km個人パーシュートは村田(氷見)、4km速度競走は長松(別府商・別府翔青)、ポイントレースは中川(浦和工)、ケイリンは東矢(千原台)、スクラッチは根本(学法石川)がそれぞれの種目で優勝を飾った。

また、チームパーシュートでは予選で大会新記録を出した2校(岐阜第一と榛生昇陽)の対決となったが、岐阜第一が決勝でも素晴らしい走りを披露し、再度大会新記録を出して優勝した。チーム・スプリントでは予選1位の別府商・別府翔青が優勝を飾った。2種目で5つの大会新記録が生まれたトラック競技だった。

8月2日、広島県三原市中央森林

公園サイクリングロードコースにおいて、平成28年度全国高等学校総合体育大会自転車競技ロード競技、第61回全国高等学校自転車道路競走中央大会が開催された。

天候に恵まれ午前9時に100kmの個人ロード・レースが欠場者1名を除いた144名の選手でスタートし、8周で実施された。序盤から良いペースでレースは進行し、時折アタックが繰り返されるが、なかなか逃げが決まらない。最終周のフィニッシュラインでは先頭が亀谷(岐阜第一)、23秒遅れで岡本(榛生昇陽)、約30秒遅れで26名の集団が通過。その後、集団からアタックした林(名古屋)が逃げ切って優勝した。2位は浜田(藤井寺工科)、3位は日野(松山城南)で、1年生の健闘(1、3、4位に入賞)が光ったレースであった。また、完走者は62名だった。

学校対抗総合では、別府商・別府翔青が30点で総合優勝を飾った。2位は岐阜第一(29点)、3位は静岡岡北(21点)となった。

また、女子公開競技4種目を実施され、500mタイムトライアルとケイリンの2種目を細谷(浦和工)が制し、スクラッチで中村(福井科技)、ポイント・レースで池上(祐誠)がそれぞれ優勝を飾った。(井上正継)

1kmタイムトライアル1位の山田



チームスプリント1位の別府商・翔青





ケイリン決勝、左から2人目が1位の東矢



女子ケイリン決勝、先頭が1位の細谷



女子スクラッチ1位の中村



スクラッチ決勝、①が1位の根本



3km 個人パーシュート1位の村田



女子ポイントレース1位の池上



スプリント決勝、手前が1位の甲斐



4km 速度競走決勝、先頭が1位の長松



ロードレース1位の林



ロードレース途中逃げる亀谷、花田達



ロードレースのバレードスタート

# 競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

第3回ニホカワシツク (2016/7/10 北海道・倶知安町 / 共和町 / 蘭越町 / ニホ町)

## リト男子 (140km)

- 1 松田 究 ライト・ファクトリー 3:56:20.89
- 2 菅原 勇人 じてんしゃ本舗 3:56:29.68
- 3 清水 優 北海道大学 4:00:24.35

## L (70km)

- 1 米田 和美 Cherry Japan 2:13:00.90
- 2 青木紗矢香 BH ASTIFO 2:24:29.35
- 3 鈴木 邦子 MRC 3:23:23.52

## J (70km)

- 1 池辺 刀那 MUUR-ZERO 2:09:15.50
- 2 渡邊 太梧 函館工業高校 2:10:58.82
- 3 中谷 亮太 北科大学高校 2:11:07.75

## M(70km)

- 1 中川 康博 Cycles Wakasa 2:20:33.77
- 2 山口 俊一 Cycles Wakasa 2:28:21.75
- 3 一木浩一郎 BC-ORION 2:29:46.10

JICF インターナショナルトラックカップ  
(2016/7/15-16 長野・美鈴湖自転車競技場)

## 男子スプリント

- 1 OLIVA Lewis GBR
- 2 Van VELTHOOVEN Simon NZL
- 3 BROWNE Kwesi TTO

## 男子1kmタイムトライアル

- 1 宮本 隼輔 JPN 中央大学 1:06.572
- 2 小峰 烈 JPN B-SOUL 1:07.651
- 3 曾我 圭佑 JPN 明治大学 1:09.343

## 男子ケリソ

- 1 Van VELTHOOVEN Simon NZL
- 2 BROWNE Kwesi TTO
- 3 宮本 隼輔 JPN 中央大学

## 男子チームスプリント

- 1 OLIVA Lewis/Van VELTHOOVEN Simon/BROWNE Kwesi 1:02.075

## 男子ホムニム

- 1 橋本 英也 JPN 255p
- 2 渡邊翔太郎 JPN 220p
- 3 中村龍太郎 JPN 198p

## 男子マデソソ

- 1 伊藤 和輝・孫崎 大樹 17p
- 2 渡部 将太・鈴木 良 16p
- 3 中村龍太郎・北澤竜太郎 8p

## 女子ポイントレース

- 1 西島 叶子 JPN 鹿屋体育大学 21p
- 2 高田 奈生 JPN 鹿屋体育大学 9p
- 3 八木 梓 JPN 愛媛大学 9p

2016 ジュニア・トラック世界選手権大会  
(2016/7/20 -24 スイス・イェグル)

## 男子スプリント

- 1 Bradly Knipe NZL
- 2 Conor ROWLEY AUS
- 3 Stefan RITTER CAN
- 21 治田 知也 新潟 吉田高校
- 28 中島 詩音 山梨 日本大学

## 【競技結果】

平成 28 年度全国高等学校総合体育大会  
(2016/7/28-31 鳥取・倉吉)

### スプリント

- 1 甲斐 俊祐 大分 別府商・別府翔青
- 2 黒瀬浩太郎 広島 崇徳
- 3 荒川 仁 千葉 千葉経済

### 1kmタイムトライアル

- 1 山田 諒 岐阜 岐阜第一 1:05.197
- 2 治田 知也 新潟 吉田 1:05.627
- 3 五味 大征 三重 暁 1:06.358

### ケリソ

- 1 東矢 圭吾 熊本 千原台
- 2 高木 郁哉 宮城 仙台商
- 3 村山 悠人 埼玉 川越工

### 3km個人バレー

- 1 村田 祐樹 富山 氷見 3:33.609
- 2 松本 京太 静岡 静岡北 3:33.916
- 3 中山 駿 大分 日出総合 3:35.647

### 4km速度競走

- 1 長松 大祐 大分 別府商・別府翔青
- 2 清水 貴梨 山梨 甲府工
- 3 梶元 一葵 福井 福井科技

### スクラッチ (8km)

- 1 根本 雄真 福島 学法石川
- 2 河藤 相真 鳥取 倉吉西
- 3 安彦 統賀 埼玉 川越工

### ポイントレース (24km)

- 1 中川 涼 埼玉 浦和工
- 2 矢部 駿人 岡山 岡山工
- 3 關根 論容 埼玉 叡明

### チームスプリント

- 1 別府商・翔青 甲斐・長松・田仲 1:04.880
- 2 静岡北 齋木・吉元・松本 1:05.411
- 3 吉田 治田・滝本・塩原 1:05.769

### チームバレー

- 1 岐阜第一 大屋・亀谷・菅原・松田 4:22.998
- 2 榛生昇陽 奥村・今西・西原・河野 4:24.426
- 3 岐南工業 林・澤木・清生・棚瀬 4:25.336

### 女子500mタイムトライアル

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工 37.116
- 2 中本 真弥 和歌山 和歌北 38.112
- 3 松本 詩乃 東京 昭和一学園 38.389

### 女子ケリソ

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工
- 2 山口 伊吹 長崎 鹿町工
- 3 坂本ほのか 奈良 榛生昇陽

### 女子スクラッチ (6km)

- 1 中村 愛花 福井 福井科技 8:35.330
- 2 池上あかり 福岡 祐誠
- 3 菅原 朱音 鳥取 倉吉総産

### 女子ポイントレース (12km)

- 1 池上あかり 福岡 祐誠
- 2 原田 萌花 茨城 取手一
- 3 岩元 杏奈 宮崎 都城工

平成 28 年度全国高等学校総合体育大会  
(2016/8/2 広島・中央森林公園)

### 個人ロードレース (100km)

- 1 林 祐作 愛知 名古屋 2:41:46.5
- 2 浜田 大雅 大阪 藤井寺工 2:41:55.9
- 3 日野 泰静 愛媛 松山城南 2:41:57.1
- 4 小野寺 慶 栃木 真岡工 2:41:58.3
- 5 松本 大志 香川 高松工芸 2:41:58.6
- 6 篠田 幸希 群馬 前橋工 2:41:58.7

### 学校対抗総合

- 1 別府商業・別府翔青高等学校 大分 30p
- 2 岐阜第一高等学校 岐阜 29p
- 3 静岡北高等学校 静岡 21p

## 男子 1km タイムトライアル

1	Stefan RITTER	CAN	1:01.673
2	Bradly Knipe	NZL	1:01.897
3	Junggyu NA	KOR	1:02.573
12	治田 知也	新潟 吉田高校	1:04.451
17	脇本 勇希	福井 科学技術	1:05.498

## 男子ケリソ

1	Conor ROWLEY	AUS	
2	Martin CECHMAN	CZE	
3	David ORGAMBIDE	ESP	
20	東矢 圭吾	熊本 千原台高校	
26	中島 詩音	山梨 日本大学	

## 男子 3km 個人バレーシュート

1	Stefan BISSEGGGER	SUI	3:12.416
2	Rasmus PEDERSEN	DEN	3:18.254
3	Bastian FLICKE	GER	3:16.239
23	今村 駿介	福岡 中央大学	3:24.700
46	曾我部厚誠	大阪 京都産大	3:36.770

## 男子スクラッチ (10km)

1	Tegsh-Bayar BATSAIKHAN	MGL	11:45.000
2	Daniel BABOR	CZE	
3	Moreno MARCHETTI	ITA	
8	曾我部厚誠	大阪 京都産業大学	

## 男子ポイントレース (24km)

1	Szymon KRAWCZYK	POL	53p
2	Matt WALLS	GBR	44p
3	Wen Chao LI	TPE	44p
10	今村 駿介	福岡 中央大学	25p

## 男子チーム

1	Campbell STEWART	NZL	224p
2	Tomas CONTTE	ARG	218p
3	Julius JOHANSEN	DEN	204p
	沢田桂太郎	宮城 日本大学	予選敗退

## 男子マディソン

1	スイス	8p
2	ニュージーランド*	(-1lap) 17p
3	オーストラリア	(-1lap) 14p
	日本 沢田・今村	DNF

## 男子チームスプリント

1	ロシア	36.732
2	オーストラリア	36.813
3	ドイツ	36.929
7	日本 脇本・沢田・治田	37.648

## 男子チームバレーシュート

1	ニュージーランド*	4:01.409
2	デンマーク	4:04.877
3	イギリス	4:04.661
16	日本 今村・曾我部・沢田・田川	4:34.804

## 女子 500m タイムトライアル

1	Pauline Sophie GRABOSCH	GER	34.023
2	Yufang GUO	CHN	34.571
3	Soo-Hyun KIM	KOR	34.710
18	細谷 夢菜	埼玉 浦和工業高	36.809
24	松井 優佳	鹿児島 南大隅高校	38.288

## 女子スプリント

1	Pauline Sophie GRABOSCH	GER	
2	Yufang GUO	CHN	
3	Hetty VAN DE WOUW	NED	
24	松本 詩乃	東京 昭和第一学園高校	
26	松井 優佳	鹿児島 南大隅高校	

## 女子 2km 個人バレーシュート

1	Maria NOVOLODSKAYA	RUS	2:23.745
---	--------------------	-----	----------

2	Jade HAINES	AUS	2:25.859
3	Ellesse ANDREWS	NZL	2:22.695
27	松井 優佳	鹿児島 南大隅高	2:36.461
29	中村 愛花	福井 科学技術	2:36.973

## 女子ケリソ

1	Sara KANKOVSKA	CZE	
2	Gloria MANZONI	ITA	
3	Yufang GUO	CHN	
25	松本 詩乃	東京 昭和第一学園高校	
25	小林 彩乃	群馬 日本競輪学校	

## 女子スクラッチ (7.6km)

1	Rebe RAYBOULD	GBR	10:38.100
2	Devaney COLLIER	CAN	
3	Kristina CLONAN	AUS	
	中村 愛花	福井 科学技術高	予選敗退

## 女子ポイントレース (20km)

1	Letizia PATERNOSTER	ITA	35p
2	Jessica ROBERTS	GBR	32p
3	Wiktorija PIKULIK	POL	30p
16	中村 愛花	福井 科学技術高校	Op

## 女子チームスプリント

1	ニュージーランド*	28.006
2	イタリア	28.357
3	中国	28.312
9	日本 松本・細谷	29.877

## 女子チームバレーシュート

1	イタリア	4:31.157
2	ニュージーランド*	4:38.732
3	フランス	追抜勝
	日本 小林・松井・中村・細谷	DSQ

## JOC カップ 2016 全国1-3選抜マウンテンバイク 大会 (2016/8/6-7 長野・白馬)

## 男子1-3 (14-16) 17.60km

1	村上功太郎	愛媛 こけむしろ	56:44.20
2	神永 真一	大阪 ProRide	57:21.22
3	伊藤 旭	熊本 九州学院	57:36.41

## 女子1-3 (14-16) 8.80km

1	川口うらら	兵庫 sonic-r.	32:31.42
2	小林あかり	長野 安曇野	35:14.54
3	松本 璃奈	長野 Mashun R.	39:52.41

## 男子1-3 (12-13) 8.80km

1	村上裕二郎	愛媛 こけむしろ	30:19.69
2	鈴木 皓士	山梨 ProRide	31:30.30
3	山下 柊	北海道 BG8	31:49.66

## 女子1-3 (12-13) 4.40km

1	渡部 春雅	神奈川 GIANT 港北	15:20.63
2	大蔵こころ	長野 赤穂中学	18:24.04
3	福永 真海	熊本 Q-shu union	23:04.66

## 第33回シマノ/鈴鹿国際ロード (2016/8/21 鈴鹿サーキット)

## 個人ロードレース (58.1km)

1	Jon Aberasturi Izag	UKYO	1:15:24.10
2	畑中 勇介	UKYO	1:15:24.20
3	Bas Tietema	BMC	1:15:24.28
4	吉田 隼人	マトリックス	1:15:24.29
5	大久保 陣	ブリッヅェン	1:15:24.38
6	小森 亮平	愛三工業	1:15:24.47

## ツール・ド・北海道 2016 (2016/9/1-3 北海道・道央)

## 個人総合時間賞

1	増田 成幸	BLZ	12:50:23
2	DE NEGRI Pier Paolo	NIP	12:50:50
3	GARCIA AMBROA Ricardo	KIN	12:50:50
4	中根 英登	AIS	12:50:52
5	THIERY Cyrille	VCM	12:50:53
6	吉岡 直哉	NAS	12:50:53

## チーム総合時間賞

1	BRIDGESTONE ANCHOR	38:39:38
2	VELO CLUB MENDRISIO	38:39:43
3	KINAN CYCLING TEAM	38:42:17

## ポイント賞

1	DE NEGRI Pier Paolo	NIP	39p
---	---------------------	-----	-----

## 山岳賞

1	増田 成幸	BLZ	24p
---	-------	-----	-----

## 第1ステージ (1.0km)

1	ABERASTURI IZAGA Jon	UKO	1:14:16
2	THIERY Cyrille	VCM	1:15:03
3	STACCHIOTTI Riccardo	NIP	1:15:08

## 第2ステージ (108.1km)

1	増田 成幸	BLZ	2:39:56
2	MONIER Damien	BGT	2:40:38
3	鈴木 譲	BLZ	2:40:38

## 第3ステージ (177.2km)

1	DE NEGRI Pier Paolo	NIP	4:34:42
2	GARCIA AMBROA Ricardo	KIN	4:34:42
3	中根 英登	AIS	4:34:42

## 第4ステージ (213.2km)

1	MORTON Lachlan David	JBC	5:33:44
2	TORIBIO ALCOLEA Jose Vicente	MTR	5:33:44
3	西蘭 良太	BGT	5:33:44

## CdJ 2016 やまぐち十種ヶ峰国際 DHI (2016/9/3-4 山口・山口市)

## 男子リト DHI

1	井本はじめ	兵庫 SRAM	2:13.155
2	井手川直樹	広島 AKI Fact.	2:14.421
3	阿藤 寛	大阪 Acciarpone	2:15.294

## 女子リト DHI

1	TSAI Chi Ling	TPE	2:53.792
2	中川 弘佳	大阪 Lovespo	2:54.501
3	富田 敬子	奈良 Acciarpone	2:54.626

## 男子マスターズ DHI

1	望月 克彦	静岡 MARSH	2:37.627
2	若林 正幸	東京 風魔	2:49.871
3	喜安 祥隆	愛媛 RTK	2:57.897



男子ジュニア 3kmIP 優勝の沢田



男子ジュニア 1kmTT 優勝の治田



女子ジュニア 500mTT 優勝の細谷



# 2016年 JOC ジュニアオリンピックカップ

新記録ラッシュ 沢田は 3km ジュニア日本新!

**KEIRIN** 

この大会は競輪の補助金を  
受けて開催されました

女子ジュニア ポイントレース先頭が優勝の長石



男子ジュニア スプリント決勝、手前が優勝の沢田



女子ジュニア スプリント決勝、左が優勝の山口



男子ジュニア スクラッチ優勝の朝倉

男子ジュニア ケイリン決勝、左から2人目が優勝の治田



2016年JOCジュニアオリンピックカップ自転車競技大会が、8月20日から21日まで、静岡県伊豆市伊豆ペドロームで開催されました。

今シーズン活躍したジュニア選手を中心に日本新記録が1つ、大会新記録が4つ更新されました。特にJOCカップを獲得した沢田佳太郎(宮城・日本大学)は、3km個人パーシュートで3分22秒659の日本新記録を樹立して優勝、スプリントでも予選で10秒659の大会新記録を出して優勝しました。同じく女子でJOCカップを獲得した細谷夢菜(埼玉・浦和工業高校)も500mタイムトライアルで36秒940の大会記録で優勝、2km個人パーシュートとあわせて2種目で優勝を飾りました。この2名以外でも治田知也(新潟・吉田高校)が1kmタイムトライアルで日本記録に迫る1分03秒707の大会新記録で優勝、ケイリンとあわせて2種目で優勝を飾りました。

今大会で活躍した選手達の、2020東京オリンピックでの活躍を期待したいと思います。

(JCF 広報委員長・坂井田米治)

**【競技結果】**

**2016年JOCジュニアオリンピックカップ  
(2016/8/20-21 静岡・伊豆ペドローム)**

**ジュニアオリンピックカップ受賞者**

男子：沢田佳太郎 宮城  
女子：細谷夢菜 埼玉

**男子ジュニア 1km タイムトライアル**

- 1 治田 知也 新潟 1:03.707
- 2 伊藤 歩登 兵庫 1:04.972
- 3 山田 諒 岐阜 1:05.445

**男子ジュニア スプリント**

- 1 沢田佳太郎 宮城
- 2 梶原 海斗 福岡
- 3 中野 慎詞 岩手

**男子ジュニア 3km 個人パーシュート**

- 1 沢田佳太郎 宮城 3:26.292
- 2 松田 祥位 岐阜 3:30.679
- 3 松本 京太 静岡 3:31.993

**男子ジュニア ポイントレース**

- 1 中川 涼 埼玉 46p
- 2 關根 論容 埼玉 39p
- 3 佐藤 健 熊本 15p

**男子ジュニア スクラッチ**

- 1 朝倉 智仁 茨城 12:28.12
- 2 菅原 悠斗 岐阜

**3 満田 光紀 熊本**

**男子ジュニア ケイリン**

- 1 治田 知也 新潟
- 2 吉元 大生 静岡
- 3 東矢 圭吾 熊本

**女子ジュニア 500m タイムトライアル**

- 1 細谷 夢菜 埼玉 36.940
- 2 松本 詩乃 東京 37.966
- 3 佐藤 水菜 神奈川 38.366

**女子ジュニア スプリント**

- 1 山口 伊吹 長崎
- 2 佐藤 水菜 神奈川
- 3 野島理紗子 神奈川

**女子ジュニア 2km 個人パーシュート**

- 1 細谷 夢菜 埼玉 2:32.119
- 2 菅原 朱音 鳥取 2:33.287
- 3 松本 詩乃 東京 2:34.480

**女子ジュニア ポイントレース**

- 1 長石 悠里 鳥取 13p
- 2 池上あかり 福岡 9p
- 3 小口加奈絵 栃木 5p

**2016 女子ロードフランス遠征 日本代表選手団**

派遣日程 2016年8月18日～29日  
開催場所 フランス  
大会名 Trophee d'or Feminin (UCI2.2 8/21-24)  
GP de Plouay-Bretagne (UCIWorldtour 8/27)

**代表選手団**

- 監督 柿木 孝之 (JCF 強化コーチ)
- メカニック 中村 仁 (JCF 強化支援スタッフ)
- 選手 梶原 悠未 (埼玉・筑波大学)
- 坂口 聖香 (兵庫・パナソニックレディース)
- 吉川 美穂 (和歌山・Live GARDEN BICI STELLE)
- 合田祐美子 (岡山・BH ASTIFO)
- 牧瀬 翼 (和歌山・ASAHI MUUR ZERO)
- 上野みなみ (青森・CIEL BLEU KANOYA)

**2016年トリアル世界選手権大会 日本代表選手団**

大会名 2016年トリアル世界選手権大会  
大会日程 2016年8月31日～9月3日  
開催場所 イタリア

**代表選手団**

- 監督 塩崎 正貴 (JCF 支援スタッフ)
- 選手
- ジュニア20 土屋 凌我 (長野・岩村田高等学校)
- 泉澤 仁 (群馬)
- ジュニア26 塩崎 太夢 (山梨・甲府工業高等学校)

**2016 マウンテンバイク DHI 世界選手権  
日本代表選手団**

大会名 2016 マウンテンバイク (ダウンヒル)  
世界選手権大会

大会日程 2016年9月6日～11日  
開催場所 イタリア・バル・ディ・ソーレ

**代表選手団**

- 監督 永田 隼也 (JCF 強化支援スタッフ)
- メカニック 藤田 知高 (JCF 強化支援スタッフ)
- 今田 大三 (JCF 強化支援スタッフ)
- マッサー 軽部 典子 (JCF 強化支援スタッフ)
- 選手
- 男子エリート 清水 一輝 (愛知)
- 九島 勇気 (神奈川・玄武/MONDRAKER)
- 加藤 将来 (愛知)
- 女子エリート 末政 実緒 (兵庫・SRAM/LITEC/PRIVATE PARK)
- 男子ジュニア 井岡 佑介 (愛知)
- 泉野 龍雅 (愛知・AKI FACTORY/自転車道)

**男子 U17 1km タイムトライアル**

- 1 藤野 竜弥 愛媛 1:08.958

**男子 U17 3km 個人パーシュート**

- 1 河野 翔輝 奈良 3:33.916

**男子 U17 ポイントレース**

- 1 長松 空吾 大分 12p

**女子 U17 500m タイムトライアル**

- 1 藤田まりあ 埼玉 38.343

**女子 U17 2km 個人パーシュート**

- 1 石上 夢乃 神奈川 2:39.556

**女子 U17 ポイントレース**

- 1 石上 夢乃 神奈川 10p

**男子 U15 1km タイムトライアル**

- 1 増田 伊吹 愛媛 1:16.616

**男子 U15 3km 個人パーシュート**

- 1 藤田翔太郎 福岡 4:02.205

**女子 U15 500m タイムトライアル**

- 1 金田 舞夏 神奈川 41.104

**女子 U15 2km 個人パーシュート**

- 1 矢田 寿々 静岡 2:55.960

# 第51回全国都道府県対抗自転車競技大会

男子総合優勝は岐阜県、女子総合優勝は東京都！

KEIRIN 00  
この大会は競輪の補助金を受けて開催されました



男子チームパーシュート優勝の岐阜

第51回全国都道府県対抗自転車競技大会が9月6～8日、愛媛県で開催された。この大会は来年行われる「愛顔つなくえひめ国体自転車競技」のリハーサル大会で、トラックレースが松山中央公園多目的競技場、ロードレースが今治市大三島特設コースで行われた。

最初の2日間はトラックレースが行われ、チームパーシュート、チームスプリント、1km タイムトライアルなどで大会新記録が続出した。またトラックレース終了時の総合得点では男子：岐阜、女子：福井が暫定1位となった。

天候が危ぶまれた8日のロードレース、スタート時には雲が多かったものの、徐々に回復しフィニッシュ時には猛烈な暑さとなっていた。

大三島を2周する女子ロード、東京の古山の逃げに神奈川の福田が合流、2人の逃げ切りが決まるかと思われたが、メイン集団から、合田(岡山)、榎木(東京)、中原(広島)がアタック。結局、古山を除く4人のゴールスプリントを中原が制した。また都道府県対抗女子は、ロードで2位と5位に入賞した東京都が見事逆転し、総合1位を獲得した。

同コースを3周する男子ロード、水野(山梨)、青野(香川)、新村(茨城)を含む6名の集団が先行する。フィニッシュまで10km地点、先頭是水野と青野の2人。それを、新村・北西(和歌山)・中村(広島)の3人が追う。その後を阿曾(三重)、そして10人程度の集団が追う。最終フィニッシュ、2名でのゴールスプリントを水野が制し男子チャンピオンとなった。

また都道府県対抗男子は、和歌山県がロードで9点を追加したが、5点差で岐阜県が逃げ切った。

男子チームスプリント優勝の大分



女子チームスプリント優勝の埼玉



成年男子 1kmTT 優勝の一丸



少年男子 1kmTT 優勝の治田



女子 500mTT 優勝の細谷



成年男子ケイリン決勝、優勝の①藤根



少年男子ケイリン決勝、優勝の④真鍋

成年男子ポイントレース優勝の②近谷



女子ポイントレース優勝の②橋本



少年男子ポイントレース優勝の竹澤



男子スプリント決勝、優勝の後藤(左)





女子ロード逃げる福田(右)と古山



男子ロードレースの先頭集団



女子ロードレース優勝の中原



男子ロードレース逃げる水野(右)と青野

**【競技結果】**

**第51回全国都道府県対抗自転車競技大会  
(2016/9/6-8 愛媛・松山市/今治市)**

**男子スプリント**

- 1 後藤 悠 岩 手
- 2 末廣 快理 兵 庫
- 3 橋本 英也 岐 阜

**成年男子1kmタイムトライアル**

- 1 一丸 尚伍 大 分 1:04.890
- 2 新村 穰 茨 城 1:05.863
- 3 相馬 義宗 岐 阜 1:06.041

**少年男子1kmタイムトライアル**

- 1 治田 知也 新 潟 1:05.228
- 2 五味 大征 三 重 1:06.894
- 3 伊藤 歩登 兵 庫 1:07.373

**成年男子ケイリン**

- 1 藤根 俊貴 岩 手
- 2 堀 航輝 香 川
- 3 安本 昇平 山 口

**少年男子ケイリン**

- 1 真鍋 智寛 愛 媛
- 2 滝本 幸正 新 潟
- 3 武雄 龍人 三 重

**成年男子ポイントレース**

- 1 近谷 涼 富 山 54p
- 2 青野 将大 香 川 42p
- 3 渡邊翔太郎 岐 阜 34p

**少年男子ポイントレース**

- 1 竹澤 啓介 福 井 18p
- 2 谷 和也 大 阪 17p
- 3 西原裕太郎 奈 良 15p

**男子チームスプリント**

- 1 大 分 一丸・田仲・長松 1:16.806
- 2 三 重 中村・武雄・五味 1:18.631
- 3 岩 手 藤根・後藤・照井 1:17.228

**男子チームパーシュート**

- 1 岐阜 橋本<sub>主</sub>・渡邊・浦田・永田 4:18.853
- 2 和歌山 橋本<sub>主</sub>・岡本・森口・佐々木 4:24.147
- 3 富山 近谷・井村・南儀・村田 4:23.749

**男子ロードレース**

- 1 水野 恭兵 山 梨 3:02:58
- 2 青野 将大 香 川 3:02:59
- 3 新村 穰 茨 城 3:03:41
- 4 北西 佳輔 和歌山 3:03:41
- 5 岡本 隼 和歌山 3:03:48
- 6 間瀬 勇毅 大 阪 3:03:48

**女子500mタイムトライアル**

- 1 細谷 夢菜 埼 玉 36.924
- 2 柳原 真緒 福 井 37.934
- 3 伊藤 花歩 鳥 取 38.137

**女子ポイントレース**

- 1 橋本 優弥 岐 阜 21p
- 2 中原 恭恵 広 島 12p
- 3 松井 優佳 鹿 児 島 11p

**女子チームスプリント**

- 1 埼 玉 細谷・藤田 58.051
- 2 福 井 中村・柳原 59.079
- 3 熊 本 西島・中富 1:00.294

**女子ロードレース**

- 1 中原 恭恵 広 島 2:21:29
- 2 櫻木 祥子 東 京 2:21:29
- 3 福田 咲絵 神奈川 2:21:30

**都道府県対抗男子総合**

- 1 岐 阜 44p
- 2 和歌山 39p
- 3 岩 手 38p



**都道府県対抗女子総合**

- 1 東 京 28p
- 2 福 井 26p
- 3 埼 玉 24p



### 2016 マウンテンバイク世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2016 マウンテンバイク世界選手権大会

大会日程 2016年6月30日～7月3日

派遣日程 2016年6月27日～7月5日

開催場所 チェコ・Nove Mesto Na Morave

代表選手団

監督 鈴木 雷太 (JCF強化支援スタッフ MTB コーチ)

メカニック 小林 輝紀 (JCF強化支援スタッフ)

白井 三善 (JCF強化支援スタッフ)

マッサー 軽部 修子 (JCF強化支援スタッフ)

西川 晶子 (JCF強化支援スタッフ)

選手

男子エリート 山本 幸平 (北海道・TREK Factory Racing)

平野 星矢 (長野・Bridgestone Anchor Cycling Team)

中原 義貴 (大阪・BH SR SUNTOUR)

女子エリート 末政 実緒 (兵庫・SRAM/LITEC/PRIVATE PARK)

男子U23 平林 安里 (長野・SPECIALIZED RACING JAPAN)

前田 公平 (東京・BiORACER/Thompson)

沢田 時 (滋賀・Bridgestone Anchor Cycling Team)

男子ジュニア 北林 力 (長野・白馬高等学校 ProRide)

江越 昇也 (神奈川・大楠高等学校 ProRide)

上野 蓮 (福岡・日本経済大学)

### 2016 UCI ジュニアトラック世界選手権大会派遣 日本代表選手団

大会名 2016 UCI ジュニアトラック世界選手権大会

大会日程 2016年7月20日～24日

派遣日程 2016年7月15日～26日

開催場所 スイス・ワールドサイクリングセンター (WCC)

代表選手団

監督 折本 裕樹 (JCFジュニア強化育成部会長)

コーチ 相原 好宏 (JCFジュニア強化育成部会支援スタッフ)

宮本 文晴 (JCF強化コーチ・ジュニア強化育成部会支援スタッフ)

メカニック 斉藤 健吾 (JCF強化支援スタッフ)

スタッフ 村田 正洋 (情報・科学スタッフ)

選手 沢田桂太郎 (宮城・日本大学)

今村 駿介 (福岡・中央大学)

曾我部厚誠 (大阪・京都産業大学)

田川 翔琉 (熊本・明治大学)

中島 詩音 (山梨・日本大学)

脇本 勇希 (福井・科学技術高校)

治田 知也 (新潟・吉田高校)

東矢 圭吾 (熊本・千原台高校)

細谷 夢菜 (埼玉・浦和工業高校)

松井 優佳 (鹿児島・南大隅高校)

中村 愛花 (福井・科学技術高校)

松本 詩乃 (東京・昭和一学園高校)

小林 彩乃 (群馬・日本競輪学校)

### 2016 ジャパントラックカップ I & II 日本代表選手団

大会名 2016 ジャパントラックカップ I &amp; II

大会日程 2016年7月8日～10日

開催場所 静岡県伊豆市 伊豆ベロドローム

代表選手団

監督 坂本 勉 (短距離ヘッドコーチ)

コーチ 飯島 誠 (中距離ヘッドコーチ)

小田島梨絵 (強化コーチ)

宮本 文晴 (強化コーチ)

折本 裕樹 (ジュニア強化育成部会長)

山本 宏恒 (ジュニア強化育成部会長)

塩原 正長 (ジュニア強化育成部会支援スタッフ)

メカニック 森 昭雄 (強化支援スタッフ)

斎藤 健吾 (強化支援スタッフ)

マッサー 中山 真臣 (強化支援スタッフ)

奥隅 信幸 (強化支援スタッフ)

スタッフ 村田 正洋 (情報・科学スタッフ)

ドクター 内田 彰子 (強化支援スタッフ)

エリート 中川誠一郎 (JPCA JPCU 熊本)

渡邊 一成 (JPCA JPCU 福島)

脇本 雄太 (JPCA JPCU 福井)

河端 朋之 (JPCA JPCU 岡山)

窪木 一茂 (和歌山 NIPPO VINI FANTINI)

橋本 英也 (岐阜 NIPPO Racing Team)

前田佳代乃 (京都)

石井 貴子 (JPCA JPCU 千葉)

塚越さくら (鹿児島 CIEL BLEU KANOYA)

梶原 悠未 (埼玉 筑波大学)

ジュニア 甲斐 俊祐 (大分 別府商業高校)

荒川 仁 (千葉 千葉経済大学附属高校)

小原丈一郎 (青森 青森山田高校)

伊藤 歩登 (兵庫 神戸弘陵学園高校)

石井 菜摘 (栃木 作新学院高校)

野寺 楓 (静岡 伊豆総合高校)

菅原 朱音 (鳥取 倉吉総合産業高校)

### 2016年アジア室内自転車競技選手権大会 日本代表選手団

大会名 2016年アジア室内自転車競技選手権大会

大会日程 2016年8月6日～7日

開催場所 ホンコン・チャイナ

代表選手団

スタッフ 阪本 博美 (JFIC事務局・JCF支援スタッフ)

選手

サイクルカッカー 村上 裕亮 (大阪・RSV 大阪)

西光 拳人 (大阪・ダンシンググレース)

サイクルフィギア 佐藤 風沙 (京都・京都産業大学)

近藤 菜月 (滋賀・滋賀ブルーレイクエンジェル)

國久 結希乃 (滋賀・滋賀ブルーレイクエンジェル)

笹島 菜花 (滋賀・滋賀ブルーレイクエンジェル)

中川 凱公 (滋賀・滋賀ブルーレイクエンジェル)

### UCI U23 ネイションズカップ大会夏季遠征 日本代表選手団

大会日程・大会名

2016.8.14 GP PASTAZARA POGGIANA (ITA)

2016.8.20-27 TOUR DE L'AVENIR(FRA)2.Ncup

2016.9.1-4 VOLTA A VALENCIA(ESP)2.12.2

2016.9.9-11 VUELTA A CANTABRIA(ESP)2.12.1

代表選手団

監督 浅田 颯 (JCF強化コーチ・ロード競技部会員)

メカニック 高橋 優平 (JCF強化支援スタッフ)

市川 貴大 (JCF強化支援スタッフ)

マッサー 穴田 悠吾 (JCF強化支援スタッフ)

スタッフ GONZALES Denis (JCF強化支援スタッフ)

COUDRAY Nicolas (JCF強化支援スタッフ)

選手 小林 海 (東京・Team KUOTA C.PAULINO)

秋田 拓磨 (福井・シマノレーシング)

横山 航太 (長野・シマノレーシング)

石上 優大 (神奈川・EQADS)

小橋 勇利 (愛媛・シマノレーシング)

小野寺 玲 (栃木・宇都宮ブリッツェン)

雨澤 毅明 (栃木・宇都宮ブリッツェン)

# 第31回オリンピック競技大会

健闘むなしく入賞者なし



## ■男子ロードレース

リオデジャネイロ五輪第2日となる6日、自転車競技は今大会最初の種目の男子ロードレースが行われた。レースは事前に予想された通り、終盤に設定された2つ目の周回コースを舞台に、過酷なサバイバルレースが展開された。最後はファンアーベルマートが、3人によるゴールスプリントを制して金メダルを勝ち取った。

日本期待の新城幸也は最終盤までメイン集団に食らいついていたが、勝負がかかった最後の上りで集団から離され、結局トップから9分38秒遅れの27位でフィニッシュ。その新城を終盤まで献身的にサポートし続けた内間康平は、2つ目の周回コースに入った直後の上りで他の選手と接触して落車。そのままりタイヤとなった。

## ■女子ロードレース

リオデジャネイロ五輪第3日となる7日、自転車競技は女子ロードレースが行われた。レースは昨日の男子同様、最終盤の山場で過酷なサバイバルレースが繰り広げられた。

およそ9km続く、長く厳しい上り坂を舞台に演じられた力と力の戦い。そしてこの急坂を上り終えた後の下りで起きた、リーダー選手の落車というアクシデント。予断を許さない壮絶な戦いは、単独で逃げ切りを図るアボットが、追走してきたファンデルブレッヘン、ロンゴボルギーニ、そしてヨハンソンの3人にフィニッシュ手前150mで捕らえられ、そのままゴールスプリント勝負となった。これを制したのはオランダのファンデルブレッヘン。オランダ勢は前回のロンドン大会でのフォスに続いて、この種目2大会連続で金メダルに輝いた。

日本からただ一人出場した與那嶺恵理は、前半の山場である1つ目の周回コースでのふるいがけに耐え、後半の山場をメイン集団の中で迎えた。先行するのは前回のオリンピックチャンピオン、フォスを含む7人のトップグループ。最終盤に控える長く厳しい上り坂を前に、決定的な逃げを作りたい7人と、その中にメンバーを送り込めなかったアメリカやカナダ勢を中心に、追走スピードを上げるメイン集団。こうした図式の中で、サバイバルレースは始まった。與那嶺は世界トップレベル

の選手たちの力勝負に、最初の段階こそ必死に食らいついていったものの、勝敗の行方を左右する最終盤の長い上り坂に入ったところで集団から離され、勝負権を失ってしまった。それでも與那嶺は、初めての五輪を諦めることなくしっかりと走り切り、トップから4分56秒遅れの17位でフィニッシュした。この順位は日本の女子ロードでは五輪史上最高位となる。

## ■女子タイムトライアル

リオデジャネイロ五輪第6日となる10日、ロード競技の最終種目タイムトライアルが、グルマリの周回コースを舞台に開催された。女子は参加選手25人。距離は、グルマリ周回コース(24.8km)を1周に、スタート・フィニッシュの海岸線部分を加えた29.7km。未明から降り出した雨が、強風とともに吹き付ける悪コンディションの中、女子最速を決める戦いは予断を許さない展開となった。最終走者として出走した42歳のベテラン、クリスティン・アームストロングが、中間計測で一時はリードを許したザベリンスカヤとの接戦を制し、オリンピック3連覇の偉業を達成した。

日本の女子として初めてこの種目に出場した與那嶺恵理は、出走25人中4番目にスタート。10km地点で16位、19.7km地点を15位で通過。そしてそのまま最後まで粘りきり、最終15位のタイムでフィニッシュした。

## ■リオ五輪トラック競技2日目

12日に行われたトラック競技2日目。この日から始まった男子スプリントに中川誠一郎が日本チームの先陣を切って出場した。まずは参加27人中、上位18人が本選へすすむ予選200mフライングタイムトライアル。ここ数年、トラック短距離種目はパワー重視の時代となり、W杯や世界選手権レベルでは、予選上位は9秒台が当たり前となっている。当然中川もここで目指したのは9秒台。ベストタイムが9秒7の中川にとっては、決して無理な数字ではない。しかし今年37歳の中川にとって、今以上のパワーアップは難しく、予選タイムもここ1年あまり9秒台から遠ざかっていた。4年前のリベンジを果たすべく出場を勝ち取った2度目のオリンピック。中川はリスクを取ることに躊躇することなく、普段よ

リギアを一段重くして勝負に臨んだ。中川のスタート順は12番目。最初の100mの通過タイムは5秒059、やや遅い。9秒台を狙うには4秒台が欲しかった。しかし後半強いのが中川、フィニッシュは…。場内モニターに表示された数字は10秒241。フィニッシュ後その表示に目をやった瞬間、中川は予選敗退を受け入れた。結局中川の成績は、参加27人中25位だった。

## ■リオ五輪トラック競技4日目

14日のトラック競技4日目は、窪木一茂が出場する男子オムニウムが行われた。競技は初日にスクラッチ、個人追抜、エリミネーションの3種目。2日目にタイムトライアル、フライングラップ、そしてポイントレースの3種目の合計6種目をこの順番で行う。参加選手は18人。5種目目のフライングラップまでは、各種目の順位によって与えられるポイントの累計で総合順位が表され、最終種目のポイントレースはそれまでのポイントの合計が持ち点として始められ、それにポイントレースでの獲得ポイントが加算されて、最終順位が決められる。オムニウムを構成する種目には、パワーが必要な種目、スピード持久力が必要な種目、そしてそれらに加えて確かな戦術眼が必要な種目と様々で、これに勝つためには自転車競技能力の全てが高い次元で要求される。

最初の種目はスクラッチ(15km)。窪木はオリンピック初出場の緊張からか、精彩を欠く走りでのこの種目12位。続く個人追抜ではさらに歯車がかみ合わず、いつものスピードと粘りを欠いて、自己ベストよりも10秒以上遅い4分39秒889で18人中最下位の18位と苦しい出足となってしまった。2種目終わった段階で、総合成績は17位。最終的に一桁の成績を目標とする窪木としては、もう大きな着はとれない。そして始まったエリミネーション。2周毎のスプリント周回で、最後にフィニッシュラインを通過した選手が、レースから除外されていくというサバイバルゲームだ。厳しい位置取り合戦が続く前半、窪木は冷静にレースの流れを見極めて、除外の危機を逃れる。中盤に入っても窪木は巧みなポジション取りで、安全圏に身を置き生き残る。やがて残り4人となったところで、対応が

後手に回ってしまいアウト。しかしこの種目4位という好成績を挙げ、ここまでの遅れを大きく挽回し、初日を終わって暫定11位となった。

### ■リオ五輪トラック競技5日目

15日のトラック競技5日目は、窪木出場の男子オムニウム2日目3種目と、この日がオリンピック初登場となる塚越さくら出場の、女子オムニウム初日3種目を中心に競技が行われた。

2日目最初の種目1kmタイムトライアルに窪木は1分4秒5の自己ベスト更新を狙って臨んだ。しかし、気負いすぎなのか終盤ペースを落として記録は1分5秒498。自己ベストには1秒以上及ばず、15位の成績だった。続くフライングラップは、自己ベストの13秒3に近い13秒587。窪木としてはまずまずのタイムだが、こうしたタイムトライアル系種目での世界との隔たりは、まだまだ大きくこの種目16位。窪木は5種目終わった段階で暫定総合成績16位、80pで最終種目ポイントレースに臨んだ。暫定トップのピビアーニは178p、暫定3位のハンセンが152p。メダルにはほど遠いポイント差だが、窪木が目指す8位入賞ラインのポイントは134で、その差は54ポイント。窪木は周回獲得を最低でも1回、できれば2回3回と決めることに狙いを定めていた。しかしレースは序盤からトップのピビアーニを追い落とすべく、上位陣が激しく動くハイペースの展開。窪木はこの動きが落ち着くまで、我慢のレースを強いられた。だが、最後までメダルを争う上位陣のペースでレースは進み、結局ピビアーニが残り10周のスプリント周回で勝負を決めるまで、落ち着くことはなかった。窪木も何度かチャンスを見つけて逃げを試みたが、その都度つぶされ、最終的に1pを加えたのみの最終成績14位で、初のオリンピックでの戦いを終えた。

男子オムニウムで金メダルを獲得したのはイタリアのピビアーニ。ピビアーニは持ち前のスピードを武器に、最初の5種目を一桁位の順位でまとめ、最後のポイントレースに持ち点トップで臨んだ。しかしそのレースでは後ろに続くイギリスのカベンディッシュ、デンマークのハンセン、フランスのブダ、そして今年の世界チャンピオン、コロニアのガピリアの激しい追い上げに、終始苦戦を強いられる。特に大会2連覇を目指すハンセンの攻撃は厳しく、一時は1ポイント差まで詰め寄せられた。だがピビアーニは終盤徹底したマーク戦法でトップ陥落の危機を幾度も乗り

越え、結局その座を一度も譲ることなく栄光のゴールラインに到達した。

初めてオリンピックでの本番に臨んだ塚越さくらは、最初の種目スクラッチでは緊張が解けない中、終盤までなんとか集団にくらいついた。しかし残り7周で起こった落車アクシデントを間一髪で避けたまでは良かったが、その影響で集団から離れ後方に置かれてしまった。しかもフィニッシュに向け、集団のペースが徐々に上がりだしたときのことだったので、それに追いつくのに脚を使い結果は17位。続く個人追抜も力みからか後半ペースを落として、3分46秒842の平凡なタイムで16位。そしてこの日最後の種目エリミネーションでは、レースが始まってすぐ、まだ塚越が集団内での居場所を見出せないうちに行き場を失ってしまい、2回目のスプリント周回でエリミネートされるという結果だった。結局初日を終わって塚越の暫定総合順位は、最下位の18位となった。

### ■リオ五輪トラック競技最終日

8月16日トラック競技最終日。この日行われた男子ケイリンに、渡邊一成、脇本雄太の2人がメダルの期待を背負って出場した。参加選手は27人。4組に分かれて行われる1回戦は、2着までがそのまま準決勝進出、3着以下は敗者復活戦へ回ることになる。まず2組目に登場したのはオリンピック3大会連続出場の渡邊一成。前回のロンドン大会ではこのケイリンに出場して、準決勝で破れ最終11位という結果だった。今回は何としても、決勝進出を最低限果たしたいところだ。周回は前からドーキンス、グレッツァー、カン・ドンジン、ドミトリエフ、ジリンスキー、その後ろに渡邊、そして最後尾にケレメンの並びで進む。残り2周半のペーサー離脱のタイミングで、4番目のドミトリエフが上昇。これにジリンスキーが続くが、ジリンスキーはそのままスピードを上げて先頭を取り切り、そこで残り2周。後方からはグレッツァーが発進し、これに渡邊が続く。しかし2番目のドミトリエフがグレッツァーの上昇に合わせて踏み出し、先頭はジリンスキーとドミトリエフが並走状態となった。残り1周、逃げ続けるジリンスキー、その外にはドミトリエフ、その大外からはグレッツァー、そしてインにはドーキンスが追い上げて、グレッツァーマークの渡邊の前には、4人の大きな壁ができてしまった。勝ったのはジリンスキー。渡邊は前にできた壁を崩せず5着、敗者復活戦回りとなった。

第4組にはオリンピック初挑戦の脇本雄太が出走した。今年の世界選手権では決勝に進んで5位。日本の短距離陣の中で、今最もメダルに近い選手と言える。乗り合わせるメンバーには、スプリントで大会2連覇を果たしたケニー、そしてレビと優勝候補の顔が並ぶ。脇本のスタート位置は内から6番目。ピストルが鳴ると同時に踏み出し前を伺うも、結局入る場所がなく、6番目の最後尾で周回に入った。レースは残り2周となるところで後方追走のケニーが早めの仕掛けで抜け出し、先行態勢に入った。これには残された全員が反応し、一列棒状で逃げるケニーを追走する。隊列最後尾の脇本にとっては、タイミングが早すぎるスピード展開。こうなってしまうのは仕掛けどころも見つからない。レースは結局、ケニーが2周を逃げ切って1着。脇本は6着に届くのがやっとだった。

敗者復活戦に回った2人。4組に分かれ、各レース1着のみが準決勝に進むことができる。敗者復活戦とはいえ、メンバーは世界トップクラスのスプリンターたち。勝つのは簡単なことではない。最初に登場したのは第2組出走の渡邊一成。メンバーはイム・チェビン、カン・ドンジンの韓国勢2人と、ポーランドのマクセル、そしてベネズエラのカネロン。1着をとれる可能性が十分にあるメンバーだ。周回4番目につけた渡邊は、残り2周手前で前を行くイム・チェビンの、発進について上昇。残り1周半で先頭に出たイム・チェビンの絶好の2番目を取り切る。しかしその直後に外から猛然と追い上げてきたマクセルが、先頭を奪い取り渡邊は3番手に。渡邊は必死の追い上げを図るも、マクセルのスピードが思いのほか速く、また後ろからカン・ドンジンが内を突いて上がってきたため、コースを大きく外さざるを得なくなった。結局渡邊はフィニッシュを待たずに力を緩め、前を行く3人の背中を呆然と見送った。

続く3組目には脇本雄太が出場。もう後がない勝たなければいけない戦いに、スタートラインに着いた脇本に気合いが入る。乗り合わせる4人はペルピス、ドーキンス、ブルガル、そしてコンスタブル。簡単に勝てる相手ではない。脇本のスタート位置は内から4番目。ピストルの合図と共に、1回戦同様再び先頭位置を狙うが、今回も取ることができず、周回は4番目の位置で進む。残り2周半のペーサー離脱のタイミングで、前を取ったのはドーキンス。脇本は最後尾に下がって、踏み出

しのチャンスをうかがう。そして残り1周手前の3コーナーで脇本が発進。スピードに乗り最終バックで先頭のドーキンスを捕らえようとしたところで、2番目にいたペルビスが動いた。ペルビスは捲りきる直前の脇本を外に追いやりながら、前のドーキンスを抜いて1着フィニッシュ。脇本はわずかに届かず2着。準決勝進出はならず、メダル獲得の夢もここで潰えた。

男子ケイリン決勝は過度の主導権争いのため、ペーサー追い抜きの反則でレースが2度中断するという、前代未聞の緊迫した状況の中で行われた。再々スタート後のレースは、やはりペーサー離脱の瞬間に一気にヒートアップした。最初に前に出たのはアイラス。しかし残り2周となるところで、後方から猛然と追い上げてきたジリンスキーが先頭に出る。後ろにはアイラス、ケニー、アワンが続き残り1周。アイラスが2番目からスパートし最終バックで前を行くジリンスキーを捕らえると、今度は追走のケニーがスパート。今大会破格の強さを見せてきたケニーは、粘るアイラス、そして内から割り込んできたオランダのブクリを押さえて先頭でフィニッシュ。チームスプリント、スプリントに続いて今大会3冠を達成した。

女子オムニウムは後半の3種目が行われた。暫定総合成績18位で初日を終えた塚越さくらは、2日目最初の種目500mTTは35秒625のタイムで6位。自身が得意とする種目で初の桁台の順位を取り、総合成績を一つあげた。しかし、続くフライングラップは14秒638で15位。そして最後のポイントレースでは、必死にメイン集団に食らいつき得点チャンスを待ち続けたものの、なかなかその時は訪れず、結局スタート時のままの68pでフィニッシュした。塚越は初のオリンピックを、総合16位の成績で終えた。金メダルに輝いたのは、イギリスのディフェンディングチャンピオン、トロットだった。トロットはこの種目オリンピック2連覇。今大会は団体追抜に続いて、2つ目の金メダルとなった。

#### ■リオ五輪BMX初日

8月17日、リオ五輪も後半に入り、自転車競技は本日から3日間、BMXが行われる。日本からは男子BMXに、世界選手権7位入賞の実績を持つ長迫吉拓が出場する。

BMX競技の参加選手は男子32人、女子16人。競技形式は、まず男女ともにシーディングランという予選タイムト

ライアル(試技1回)を行い、男子は準々決勝、女子は準決勝の組合せを決める。2日目に行われるのは男子の準々決勝のみ。8人ずつ4組に分かれ、それぞれ3回レースを行う。そしてその順位をポイントとして合計し、各組合計ポイントが一番少ない選手から4人、計16人が準決勝に進む。最終日の3日目は、男女ともに準決勝と決勝が行われる。準決勝は、男子は準々決勝を勝ち上がった16人が、女子は初日のシーディングランで振り分けられた16人が2組に分かれ、男子の準々決勝同様3回レースを行い、その順位ポイントで各組上位4人・計8人の決勝進出者を決める。そして最後にファイナリスト8人が、1レース限りの決勝戦を戦うという仕組みだ。この日の午前中は、午後行われるシーディングランのための、練習時間にあてられた。

1人ずつ1分30秒間隔でタイム計測が行われる。男子BMXシーディングラン。長迫は3番目にスタートを切った。高さ8mのスタートヒルを駆け下り、大きなジャンプが必要な第1ストレート、その突き当たりにクセがあるという第1コーナー。長迫はこれを無駄のないコース取りでクリアし、テクニカルなジャンプセクションとなる第2ストレート。ジャンプで入る第2コーナー。不規則なアップダウンが続く第3ストレート。そして最終第3コーナーを回り、より細かなアップダウンが続く第4ストレートを駆け抜けてフィニッシュ。長迫のタイムは35秒286。この時点ではまだ順位がどうこう言うことはできないが、スピード、コース取り、ジャンプのコントロールなど、ほぼノーミスと言える走りだった。長迫は結局、全参加選手32人が走り終わって12位。明日から始まるレースに向け、長迫は絶好のスタートを切った。

#### ■リオ五輪BMX2日目

昨日男女シーディングランで幕を開けたBMXは、2日目となる18日、男子の準々決勝が行われ、長迫吉拓は第4組での出走となった。

1回目、前の組で3人がコース外に投げ出される落車があったため、やや遅れてのスタートとなった第4組。長迫は最初のコーナに対して、内側から3番目でスタートを切った。長迫は「スタートはあまり得意じゃない」と自身認めるとおり、ペダル2回転ほどで6番手ぐらいに遅れをとる。大きなジャンプで第1ストレートのこぶを越えた先に現れるのが、長迫がコース攻略のポイントとして挙げたクセのある第1

コーナーだ。傾斜角が均一ではなく落車のリスクが高いこのコーナーを、長迫は得意とするコーナリングテクニックで難なくクリア。そこで4・5番手ぐらいにポジションを上げた長迫だが、第2ストレートで一気に加速して前を追おうとした矢先、直前の選手との車間が詰まりジャンプのタイミングを外してしまった。長迫はここで減速を余儀なくされ、その後はただコースを辿るだけでフィニッシュ。成績は7位だった。

1回目に大きな着を取ってしまった長迫にとって、正念場となる2回目。どの組も激しいせめぎ合いがあり、長迫が2回目のレースに臨むまでに、すでに4レースで落車が起きていた。これには時折強く吹く南からの風の影響も、少なからずあったと思われる。スタート直後の第1ストレートは追い風。第2ストレートは向かい風だ。風は体重が軽い選手に不利となり、ジャンプの際に振られたり流されたりして走りに微妙な影響を及ぼす。長迫も不利を被る選手の一人だ。スタートは外から2番目。再びやや遅れをとる。そして上位進出のカギを握る第1コーナー。長迫は外側から得意のコーナリングで中に切れ込もうとするが、オーストラリア選手に進路をふさがれ中に入ることができない。長迫は後方7番手あたりを追走して、第2ストレートから第2コーナーへ。大きなジャンプで入るタイトな第2コーナーは、ほとんどの選手がコーナ出口で外にふくらんでしまうが、長迫はここで上手く内側に切れ込み、ポジションを上げて第3ストレートに入った。しかしそこで再び減速。不規則に並ぶこぶを越える際のせめぎ合いで、1回目と同じくジャンプのタイミングを外してしまったようだ。長迫はあきらめの表情で残りを走りこのレース6位。

そして迎えた3回目。長迫はこの3レースも第2ストレート途中でジャンプをコントロールできず、ペダルを外してしまっただけ減速。結局このレース8位で、トータルの順位も8人中最下位の8位。長迫の初のオリンピックは、準々決勝敗退という結果に終わった。

#### ■リオ五輪マウンテンバイク最終日

8月21日、リオ五輪最終日。自転車競技もこの日のマウンテンバイク男子クロスカントリーが最終種目となった。天候は前日までの予報より早く崩れ、朝から雨模様。ただでさえテクニカルなセクションが多い今回のコースは、この雨でより一層難易度が上が

ることは間違いない。参加選手は32の国と地域から49人。この雨でもコースや周回数に変更はなく、予定通り570mのスタートループ1周に、起伏に富んだ丘陵地に張り巡らされた1周4.85kmのサーキットを7周回、総距離34.52kmの戦いとなった。日本からはこれで3大会連続のオリンピック挑戦となる山本幸平が、ただひとり出場を果たしている。スタート時の並びは8月9日時点のUCIランキング順で、ランキング32位の山本は3列目スタート。上位進出のための、最初にして最大のポイントがスタートだ。朝からの雨は、スタートの1時間ほど前に止んだものの走路は濡れたまま。リスクはそれほど減っていない。重く垂れ込めた雲を見る限り、また降り出すこともありそうだ。ピストルの音と共に、49人が一斉にスタート。猛然と第1コーナーめがけてスピードを上げる選手たち。その中で山本は、うまく前をふさぐ選手たちの間隙を縫って、どんどんポジションを上げていく。そして第1コーナーに入る手前で、ランキング上位者がひしめく集団前段に食らいついた。山本は1周570メートルのスタートループを5番目で通過すると、そのままの位置でサーキット最初の丘の上りに入った。しかしここから本当の戦い。シングルトラックのため1列棒状でしか進めない最初の上りでも、スタートで後手を踏んだ実力者たちは、コーナーや部分的に左右に分かれるトラックがあれば力任せに抜きにくる。山本は最初の丘を上り切ったところで、ポジションを10番目ほどに落としてしまった。それ以降山本は世界の強豪を相手に、この様々なスキルを要する難コースで必死の戦いを続けるが、パワーの差はいかんともしがたく、トップとのタイム差はどんどん広げられていく。順位も2周目までは15位とトップ10が見える位置であったが、中盤パンクアクシデントによる後れも加わって、3周目18位、4周目20位、5周目24位と徐々に落としていった。結局山本は最終周でやや挽回したものの、トップから7分6秒後れの21位でフィニッシュ。3回目のオリンピック挑戦も、世界との力の差を痛感する結果に終わった。

金メダル争いはシュルテルとクルハビーの、一騎打ちの様相となった。スイスのシュルテルは今年の世界チャンピオンであり、先のロンドン五輪の銀メダリスト。一方のクルハビーは、今年の世界選手権はシュルテルに次いで

2位。しかしロンドン五輪ではシュルテルを押さえて、金メダルを手に入れている。まさに世界トップの座を争う2人の戦いが、ここリオでも繰り返された。勝負が決まったのは、残り2周を切ったばかりの6周目最初の上り。シュルテルがややスピードが落ちたクルハビーを見て、一気にスピードを上げ逃げに入った。クルハビーは15秒ほどの差でこれを必死に追うが、コース後半の長い上りにかかったところでシュルテルが再びスパート。丘を上りきったところでクルハビーに45秒の差をつけ、独走状態に入った。シュルテルは最終周回もスピードを緩めることなく独走で逃げ切り、悲願のオリンピック金メダルを手にした。(伴 達朗)

## 【競技結果】

### 第31回リトニック競技大会 (2016/8/5-21 アラジル・リテジヤネロ)

#### <ロードレース>

##### 男子ロードレース(237.5km)

1	Greg VAN AVERMAET	BEL	6:10:05
2	Jakob FUGLSANG	DEN	+0:00
3	Rafal MAJKA	POL	+0:05
27	新城 幸也	JPCA ランプレ・メリタ	+9:38
	内間 康平	沖縄 ブリヂ・ストーンカー	DNF

##### 女子ロードレース(136.9km)

1	Anna VAN DER BREGGEN	NED	3:51:27
2	Emma JOHANSSON	SWE	+0:00
3	Elisa LONGO BORGHINI	ITA	+0:00
17	與那嶺恵理	茨城 HagensBerman	+4:56

##### 男子個人ロードタイムトライアル(54.56km)

1	Fabian CANCELLARA	SUI	1:12:15.42
2	Tom DUMOULIN	NED	+0:47.41
3	Christopher FROOME	GBR	+1:02.12
			※ 日本人選手不参加

##### 女子個人ロードタイムトライアル(29.86km)

1	Kristin ARMSTRONG	USA	44:26.42
2	Olga ZABELINSKAYA	RUS	+0:05.55
3	Anna VAN DER BREGGEN	NED	+0:11.38
15	與那嶺恵理	茨城 HagensBerman	+2:16.67

#### <トラックレース>

##### 男子スプリント

1	KENNY Jason	GBR
2	SKINNER Callum	GBR
3	DMITRIEV Denis	RUS
25	中川誠一郎	JPCA JPCU 熊本

##### 男子ケリソ

1	KENNY Jason	GBR	
2	BUCHLI Matthijs	NED	
3	AWANG Azizulhasni	MAS	
13	脇本 雄太	JPCA JPCU 福井	敗復 2位
21	渡邊 一成	JPCA JPCU 福島	敗復 4位

##### 男子ホムム

1	VIVIANI Elia	ITA	207p
2	CAVENDISH Mark	GBR	194p
3	HANSEN Lasse Norman	DEN	192p
14	窪木 一茂	和歌山 NIPPO	81p

スクラッチ 12位 (-1lap)  
個人パシユート 18位 (4:39.889)  
リミネーション 4位  
1km タイムトライアル 15位 (1:05.498)  
フライングラップ 16位 (13.587)  
ポイントレース 12位 (1p)

##### 男子チームスプリント

1	Great Britain	42.440
2	New Zealand	42.542
3	France	43.143

※ 日本人選手不参加

##### 男子チームパシユート

1	Great Britain	3:50.265
2	Australia	3:51.008
3	Denmark	3:53.789

※ 日本人選手不参加

##### 女子ケリソ

1	LIGHTLEE Elis	NED
2	JAMES Rebecca	GBR
3	MEARES Anna	AUS

※ 日本人選手不参加

##### 女子ホムム

1	TROTT Laura	GBR	230p
2	HAMMER Sarah	USA	206p
3	D'HOORE Jolien	BEL	199p
16	塚越さくら	鹿児島 C.B.KANOYA	68p

スクラッチ 17位 (-1lap)  
個人パシユート 16位 (3:46.842)  
リミネーション 17位  
500m タイムトライアル 6位 (35.625)  
フライングラップ 15位 (14.638)  
ポイントレース 14位 (0p)

##### 女子チームスプリント

1	China	32.107
2	Russian Federation	32.401
3	Germany	32.636

※ 日本人選手不参加

##### 女子チームパシユート

1	Great Britain	4:10.236
2	United States	4:12.454
3	Canada	4:14.627

※ 日本人選手不参加

#### < BMX >

##### 男子 BMX

1	FIELDS Connor	USA
2	VAN GORKOM Jelle	NED
3	RAMIREZ YEPES Carlos Alberto	COL
30	長迫 吉拓	岡山 モトクロスインターナショナル

##### 女子 BMX

1	PAJON Mariana	COL
2	POST Alise	USA
3	HERNANDEZ Stefany	VEN

※ 日本人選手不参加

#### < マウンテンバイク >

##### 男子マウンテンバイク XCO

1	SCHURTER Nino	SUI	1:33:28
2	KULHAVY Jaroslav	CZE	1:34:18
3	COLOMA NICOLAS Carlos	ESP	1:34:51
21	山本 幸平	北海道 Trek Factory	1:40:34

##### 女子マウンテンバイク XCO

1	RISSVEDS Jenny	SWE	1:30:15
2	WLOSZCZOWSKA Maja	POL	1:30:52
3	PENDREL Catharine	CAN	1:31:41

※ 日本人選手不参加

NEWS

【ロード】エリート ナショナル コミッセールコース

2016年8月18日(木)から同21日(日)まで東京都品川区 自転車総合ビルにて4日間の日程で国内初開催となるロード エリート ナショナル コミッセールコースが開催された。UCI指名講師 Martijn SWINKELS 氏 (NED)、NF指名講師 松倉 信裕氏のもと22名が英語による講義を受けた。全講義終了後、筆記試験及び口述試験を受験した21名のうち5名が合格した。合格者は以下の通り。

- 藤田 将志 (三重県自転車競技連盟)・炭竈 純一 (岐阜県自転車競技連盟)
- 岩佐 千穂 (大阪府自転車競技連盟)・遠矢 有華 (大阪府自転車競技連盟)
- 富和 清訓 (奈良県自転車競技連盟)

加盟団体事務局住所変更

- 長野県自転車競技連盟 ※10/1より変更  
〒390-0874 長野県松本市大手2-7-14 太田様方 E-mail:nagano.cf@gmail.com
- 沖縄県自転車競技連盟  
〒900-0026 沖縄県那覇市奥武山51-2 沖縄県体協スポーツ会館5階  
E-mail:okinawacf47@heart.ocn.ne.jp

男子エリート・ロードレースランキング

2016/9/3

順位	名前	所属	合計	全日本	世界選	Japan	ワールド	7/7選	7/7選	TOJ	TOJ	TOJ	TOJ	熊野	熊野	熊野	全日本	全日本	北海道	北海道	北海道	北海道	
				実業団	ロード	Cup	沖繩	TT	ロード	総合	1 St	2 St	7 St	8 St	総合	1 St	3 St	TT	ロード	総合	2 St	3 St	4 St
				2015	2015	2015	2015	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	2016	
				9/27	9/27	10/18	11/8	1/21	1/24	5/29-6/5	5/29	5/30	6/4	6/5	6/16-19	6/17	6/19	6/24	6/26	9/1-3	9/1	9/2	9/3
1	新城 幸也	JPCA	138p		10	40				70	5							20	25	40	8	1	
2	増田 成幸	栃木	124p					7		20	3												
3	西園 良太	鹿児島	89p							3							30	55				1	
4	初山 翔	神奈川	85p			4	8			3								70					
5	木村 圭佑	滋賀	41p													1		40					
6	別府 史之	JPCA	40p						40														
7	入部 正太郎	奈良	33p				30							3									
7	石橋 宇	香森	33p														3	30					
9	佐野 淳哉	静岡	25p														25						
10	鈴木 龍	宮城	24p				3								1			20					
11	中根 英登	愛知	21p																20		1		
12	野中 竜馬	広島	19p	4														15					
12	鈴木 譲	栃木	19p														15		3	1			
14	畑中 勇介	東京	18p	10		8																	
14	伊藤 雅和	愛知	18p							3				15									
16	阿部 崑之	栃木	10p														10						
16	平井 栄一	神奈川	10p															10					
16	井上 和郎	福井	10p				10																
16	吉岡 直哉	京都	10p																10				
20	鈴木 真理	栃木	7p	7																			
20	大久保 陣	鹿児島	7p																				
22	内間 康平	沖縄	6p										3	3		7							
23	橋 大志	東京	5p														5						
23	土井 雪広	山形	5p															5					
25	山下 貴宏	兵庫	3p									3						3					
25	窪木 一茂	和歌山	3p																				
25	早川 朋宏	愛知	3p							3													
25	堀 孝明	栃木	3p							3													
29	中村 龍太郎	千葉	1p														1						
29	橋本 英也	岐阜	1p														1						
29	武井 亨介	茨城	1p														1						







# 日本新記録

# Japan New Record

## ■スタンディングスタート

・3km

男子ジュニア 3'22"659 沢田桂太郎 (宮城・日本大学) 2016/8/20 静岡・伊豆ペロドローム

## 今後の大会予定

期 日	大 会 名	種 目	場 所
9月23日～25日	Coupe du Japon 妙高杉ノ原STAGE DHI, XCO	MTB	新潟県/妙高市
9月24日～25日	日本スポーツマスターズ2016・自転車競技	TR	秋田県/美郷町六郷
10月2日	JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ	TR	静岡県/伊豆ペロドローム
10月5日～9日	国民体育大会自転車競技	TR/RR	岩手県/紫波町
10月7日～9日	Coupe du Japon MTB ISHIKAWA/白山一里野温泉 DHI, XCO	MTB	石川県/白山市
10月9日～16日	UCI世界選手権大会-ロードレース	RR	カタール/ドーハ
10月9日	JBCF 経済産業大臣旗・JBCF 輪島ロードレース	RR	石川県/輪島市
10月14日～16日	Coupe du Japon CJ1 富士見パノラマ DHI, XCO	MTB	長野県/富士見町
10月22日～23日	ジャパン・カップ・サイクルロードレース	RR	栃木県/宇都宮市
10月29日	ツール・ド・フランス・さいたまクリテリウム	RR	埼玉県/さいたま市
10月29日～30日	CJ-2 京都ゆぶねSTAGE	MTB	京都府/和束町
10月30日	第12回全国ジュニア自転車競技大会	RR	三重県/四日市市
10月30日	東北CXプロジェクト猪苗代ラウンド	CX	福島県/猪苗代
11月4日～6日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第1戦	TR	イギリス/グラスゴー
11月5日～6日	第22回日韓対抗学生自転車競技大会	TR	群馬県/前橋市
11月6日	第85回全日本自転車競技選手権ロードレース (MJ, MU17+15, WJ+WU17)	RR	島根県 益田/北仙道
11月11日～13日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第2戦	TR	オランダ/アペルドールン
11月12日～13日	Coupe du Japon クロスカントリーレース in 深坂自然の森 XCO	MTB	山口県/下関市
11月13日	ツール・ド・おきなわ	RR	沖縄県北部
11月19日～20日	全日本選手権自転車競技大会-オムニウム/マスターズ	TR	静岡/伊豆ペロドローム
11月20日	関西シクロクロス・マキノラウンド	CX	滋賀県/高島市
11月26日	信州シクロクロス・野辺山高原ラウンド 1	CX	長野県/野辺山
11月27日	信州シクロクロス・野辺山高原ラウンド 2	CX	長野県/野辺山
12月2日～4日	UCI世界選手権大会-室内自転車競技	Indoor	ドイツ/シュツットガルト
12月11日	全日本選手権自転車競技大会-シクロクロス	CX	栃木県/宇都宮市
12月17日～18日	全日本選手権自転車競技大会-室内自転車競技	Indoor	大阪
2017年1月28日～29日	UCI世界選手権大会-シクロクロス	CX	ルクセンブルグ/サネム
2月17日～19日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第3戦	TR	コロンビア/カリ
2月25日～26日	2016-17 UCIトラックワールドカップ第4戦	TR	アメリカ/ロサンゼルス
3月26日～29日	平成 28 年度全国高等学校選抜自転車競技大会	TR/RR	熊本県/山鹿市・福岡県/久留米市

## 連盟の動き (7月中旬～9月中旬)

7月13日 平成 28 年度第 2 回広報部会	於：東京・白金台いきいきプラザ 講習会室
17日 トラックオリンピック短距離強化合宿	於：静岡・伊豆ペロドローム (～21日)
17日 トラックオリンピック中距離強化合宿	於：静岡・伊豆ペロドローム (～29日)
25日 トラックオリンピック短距離強化合宿	於：静岡・伊豆ペロドローム (～29日)
8月2日 トラックオリンピック強化合宿	於：カナダ (～8日)
23日 平成 28 年度第 3 回競技運営委員会	於：東京・自転車総合ビル 602 会議室
28日 平成 28 年度第 2 回 BMX 小委員会	於：静岡・日本 C S C
30日 平成 28 年度第 1 回広報委員会	於：東京・白金台いきいきプラザ 会議室
9月9日 平成 28 年度第 4 回選手強化委員会	於：東京・自転車総合ビル 602 会議室
13日 平成 28 年度第 2 回総務委員会	於：東京・自転車総合ビル 602 会議室
14日 平成 28 年度第 3 回広報委員会	於：東京・白金台いきいきプラザ 会議室



## 第29回 全日本マウンテンバイク 選手権大会

男子XCO は山本が優勝！  
女子は末政が2冠！

XCO ME の山本

7月15日～17日、長野の富士見パノラマリゾートにおいて第29回全日本マウンテンバイク選手権大会が開催された。

16日にはダウンヒルが行われ、女子エリートは末政、男子エリートは九島が予選～決勝を通してトップタイムを出し、見事勝利を勝ち取った。

17日にはクロスカントリーが行われ、女子エリートは前日のダウンヒルチャンピオンの末政が2冠に輝き、男子エリートは山本幸平が昨年に続きチャンピオンとなった。



XCO のチャンピオン達



XCO WE の末政

**【競技結果】**

第 29 回全日本マウンテンバイク選手権大会  
(2016/7/15-17 長野・富士見パノラマ)

**DHI ME**

- 1 九島 勇気 神奈川 玄武 2:54.869
- 2 清水 一輝 愛知 Patrol Mt. 2:56.573
- 3 加藤 将来 愛知 AKIFact. 2:57.781

**DHI MJ**

- 1 井岡 佑介 愛知 ホットスピﾝ 2:58.590
- 2 宇津孝太郎 神奈川 &stream 3:03.669
- 3 田丸 裕 広島 Acciarpone 3:07.093

**DHI MY**

- 1 井岡 計太 愛知 HottSpin 3:11.480
- 2 五十嵐瑞樹 長野 STORM 3:12.083
- 3 秋元 拓海 福島 PAX 3:22.783

**DHI MM**

- 1 栗野宏一郎 岐阜 KYB 3:20.778
- 2 黒川陽二郎 石川 FRS 3:23.419
- 3 三山 孝幸 石川 FRS 3:24.036

**DHI WE**

- 1 末政 実緒 兵庫 SRAM 3:26.300
- 2 中川 弘佳 大阪 Lovespo 3:53.249
- 3 富田 敬子 奈良 Acciarpone 3:54.747

**XCO ME (30.39km)**

- 1 山本 幸平 北海道 Trek 1:39:18.60
- 2 平野 星矢 長野 Anchor 1:40:42.19
- 3 中原 義貴 大阪 BH SR 1:41:56.06

**XCO MU (25.79km)**

- 1 平林 安里 長野 Specialized 1:29:31.16
- 2 竹内 遼 神奈川 MIYATA 1:32:00.84
- 3 宮津 旭 埼玉 PAX 1:34:46.86

**XCO MJ (21.19km)**

- 1 北林 力 長野 ProRide 1:16:16.78
- 2 織田 聖 埼玉 弱虫ペダル 1:19:26.93
- 3 小林 勇輝 長野 イーメ 1:20:11.37

**XCO MY (16.59km)**

- 1 山口 創平 滋賀 ProRide 58:32.50
- 2 神永 真一 大阪 ProRide 59:33.80
- 3 石川 絃 愛知 Sassa's 1:00:10.06

**XCO MM (21.19km)**

- 1 竹谷 賢二 埼玉 Specialized 1:17:34.22
- 2 品川 真寛 神奈川 YOUCAN 1:18:41.59
- 3 多田 尚史 東京 SportKid 1:22:22.15

**XCO WE (21.19km)**

- 1 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:30:36.43
- 2 武田 和佳 埼玉 Liv 1:33:31.65
- 3 小林可奈子 長野 安曇野 1:33:53.46

**XCO WU (16.59km)**

- 1 相野田静香 長野 grow 1:21:17.53
- 2 中島 峻歩 三重 WIAWIS 1:23:19.65

**XCO WJ (11.99km)**

- 1 佐藤 寿美 神奈川 MIYATA 56:36.49
- 2 吉田 雪那 北海道 BG8 1:01:18.41
- 3 寺田 早希 愛知 自転車村 1:02:51.18

**XCO WY (10.97km)**

- 1 小林あかり 長野 安曇野 47:54.57
- 2 松本 璃奈 長野 Mashun 52:40.37
- 3 光永 翔香 神奈川 バイクルームシ 53:11.49

**XCO WM (11.99km)**

- 1 辻 瑞穂 神奈川 HeartView 1:06:49.45
- 2 久保田珠実 大阪 妄想自転車 1:11:26.04



XCO WJ の佐藤



XCO MJ の北林



XCO MU の平林



XCO WU の相野田



DHI ME の九島



DHI WE の末政

鹿屋体育大学が男女とも総合優勝!



男子チームスプリント優勝の鹿屋体育大学

学連創立80周年(創立1936年)を記念する第72回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(インカレ)が、8月25日(木)～28日(日)の4日間、トラック競技は伊豆ベロドローム、ロード競技は日本CSC5kmサーキットにおいて開催された。

スクラッチが採用されて9種目となった男子トラック競技は、優勝こそ2種目ながらもまんべんなく入賞者を出した鹿屋体育大学が、同じく全種目入賞を果たした中央大学を5ポイント押さえてトラック部門1位となった。トラックで最多3種目優勝の法政大学は、スプリントとケイリンでの無得点が響き4位に終わった。女子トラック部門は5種目中2種目優勝の鹿屋体育大学が1位、同じく2勝を挙げた日本体育大学が2位となった。

ロードレースは日本CSC5kmサーキットで男子が28周140km、女子が12周60kmで行われた。男子は18周目から逃げ集団に加わった山本大喜(鹿屋体育大)が、22周目に単独で飛び出したものの27周目にメイン集団に吸収されてしまう。最終周回メイン集団では激しい主導権争いが展開され、最後に飛び出した野本

空(明治大)が2位に4秒差をつけてゴール。ロードレースでは'07年以来の明治大学勢優勝となった。女子は福田咲絵(慶応大)が独走勝利。慶応義塾大学としては'99年ロードレースでの高岡亮寛以来のインカレ制覇となった。今大会当番校の慶応大にとって16年ぶりのセンターポールでの校旗掲揚が、何よりの褒賞となったことだろう。

総合大学優勝は男子がロードレースでも3人が入賞した鹿屋体育大学で、これでインカレ4連覇。中央大学が2位、種目別優勝こそなかったものの日本大学が3位となった。女子は鹿屋体育大学が2連覇を果たし、日本体育大学が2位、トラックで1勝を挙げた八戸学院大学が3位となった。

今大会で男子1kmTTはついに2秒台に突入し、男子チームスプリント予選においては6校が大会記録を更新、うち4校は学連新記録となった。男子ポイントレースでは2ラップアップの激しいレースが繰り広げられ、男子チームパーシュート決勝では最終周回での逆転優勝が、4分10秒台というハイレベルの争いで見られた。男子ロードレースは日本

CSC・28周の最終周回を8分28秒で回り、4時間以上のレースで完走者は40名を数えた。

学連の主催するトラックのシリーズ戦TRS、ロードレースのシリーズ戦RCSなどの普及事業により、大学生の競技レベルは確実に上がっている。更なる精進を重ね東京オリンピック、そしてその次のオリンピックでの学連出身選手の活躍に期待したい。(村田隆宣)



男子1kmTT優勝の堀



男子チームパーシュート優勝の朝日大学



男子スクラッチ優勝の青野



男子ポイントレース優勝の荒井(先頭)



男子ケイリン優勝の宮本(中央)



女子500mTT優勝の齋藤



男子タンデムスプリント決勝、優勝の法政大学



男子スプリント優勝の宮本(左)



女子ポイントレース優勝の橋本(先頭)



女子スプリント決勝、優勝の清水(上)

# 今こそ資源の有効利用を

創業114年の歴史  
原材料再生のエキスパート  
24時間対応の柔軟な受入体制

110<sup>+</sup>  
Anniversary since 1902

東港金属

<http://www.tokometal.co.jp/>



女子ロード先頭集団



男子ロードのスタート



女子ロードレース優勝の福田



男子ロードレース優勝の野本

**【競技結果】**

**第72回全日本大学対抗選手権自転車競技大会 (2016/8/25-28 静岡・CSC)**

**男子スプリント**

- 1 宮本 隼輔 山口 中央大学
- 2 坂井 洋 栃木 日本大学
- 3 沢田桂太郎 宮城 日本大学

**男子1kmタイムトライアル**

- 1 堀 航輝 香川 鹿屋体大 1:02.898
- 2 橋本 壮史 福島 中央大学 1:02.993
- 3 小原 佑太 青森 朝日大学 1:03.392

**男子ケリ**

- 1 宮本 隼輔 山口 中央大学
- 2 坂井 洋 栃木 日本大学
- 3 安本 昇平 山口 鹿屋体育大学

**男子個人パシュート**

- 1 渡邊翔太郎 岐阜 朝日大学 4:34.734
- 2 今村 駿介 福岡 中央大学 4:39.951
- 3 松本 憲斗 熊本 鹿屋体大 4:33.167

**男子スクラッチ (15km)**

- 1 青野 将大 香川 法政大学 +1lap
- 2 山下 祥平 愛媛 日本体育大学 +1lap
- 3 高橋 優斗 大分 中央大学 18:36.70

**男子ポイントレース**

- 1 荒井 佑太 宮城 法政大学 70p
- 2 曾我部厚誠 大阪 京都産業大学 53p

- 3 孫崎 大樹 京都 早稲田大学 41p

**男子タデムスプリント**

- 1 法政大学 鈴木・高橋
- 2 鹿屋体育大学 安本・徳田
- 3 朝日大学 畝木・中村

**男子チームスプリント**

- 1 鹿屋体育大学 黒枝・野上・堀 46.123
- 2 日本大学 山本・沢田・中島 46.853
- 3 中央大学 佐伯・橋本・梶原 46.860

**男子チームパシュート**

- 1 朝日大学 金田・渡邊・浦田・中村 4:10.794
- 2 鹿屋体大 橋本<sub>准</sub>・阿部・松本・徳田 4:11.088
- 3 中央大学 原井・高橋・今村・橋本<sub>准</sub> 4:13.852

**男子ロードレース**

- 1 野本 空 愛媛 明治大学 4:14:06
- 2 草場 啓吾 京都 日本大学 4:14:10
- 3 中川 拳 北海道 早稲田大学 4:14:14
- 4 中西 健児 大阪 同志社大学 4:14:15
- 5 馬渡 伸弥 東京 鹿屋体育大 4:14:16
- 6 広瀬 樹 神奈川 中央大学 4:14:20

**男子総合成績**

- 1 鹿屋体育大学 77p
- 2 中央大学 61p
- 3 日本大学 57p

**女子500mタイムトライアル**

- 1 齋藤 望 宮城 日本体育大 37.433

- 2 岡本 二菜 東京 日本体育大 37.493
- 3 清水 知美 青森 八戸学院大 37.584

**女子スプリント**

- 1 清水 知美 青森 八戸学院大学
- 2 西島 叶子 熊本 鹿屋体育大学
- 3 岡本 二菜 東京 日本体育大学

**女子個人パシュート**

- 1 橋本 優弥 岐阜 鹿屋体大 3:47.570
- 2 古山 稀絵 東京 日本体大 3:51.744
- 3 中井 彩子 宮崎 鹿屋体大 3:51.604

**女子ポイントレース**

- 1 橋本 優弥 岐阜 鹿屋体育大学 24p
- 2 江藤里佳子 大分 鹿屋体育大学 16p
- 3 中井 彩子 宮崎 鹿屋体育大学 13p

**女子チームスプリント**

- 1 日本体育大学 斎藤・岡本 36.390
- 2 鹿屋体育大学 内村・橋本 37.002
- 3 順天堂大学 春原・平井 38.221

**女子ロードレース**

- 1 福田 咲絵 神奈川 慶應義塾大 2:01:19
- 2 江藤里佳子 大分 鹿屋体育大 2:06:10
- 3 中井 彩子 宮崎 鹿屋体育大 2:06:31

**女子総合成績**

- 1 鹿屋体育大学 53p
- 2 日本体育大学 37p
- 3 八戸学院大学 14p



# JAPAN NATIONAL MOUNTAINBIKE CHAMPIONSHIPS

## < JCF オフィシャル・スポンサー >



## < オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.220 2016年8-9月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/坂井田 米治

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>